

耐震診断基本データ

平成18年4月1日～平成21年11月30日

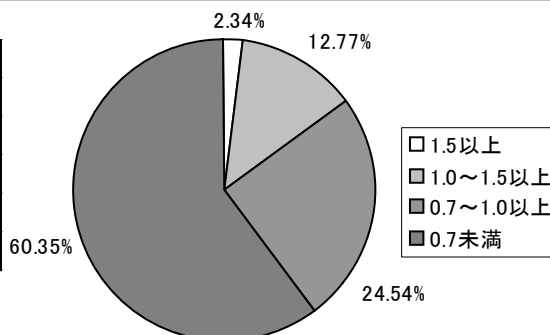
平成18年4月1日から平成21年11月30日まで（3年8ヶ月）に、木耐協で実施した耐震診断14,145件の耐震診断結果を分析したものです。

耐震診断対象家屋：昭和25年～平成12年5月までに着工された木造在来工法2階建て以下の建物

■ 耐震診断結果（基本データ）

	件数	割合	平均築年数
1.5以上 倒壊しない	331	2.34%	15.16年
1.0～1.5以上 一応倒壊しない	1,807	12.77%	20.27年
0.7～1.0以上 倒壊する可能性がある	3,471	24.54%	25.61年
0.7未満 倒壊する可能性が高い	8,536	60.35%	30.99年
合計	14,145		27.93年

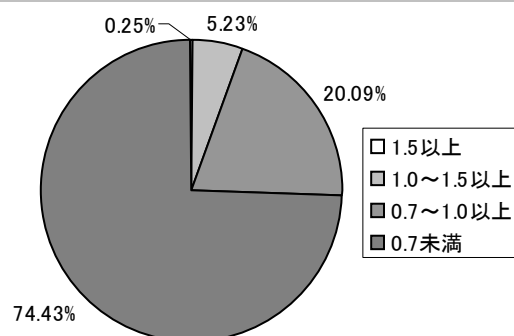
耐震補強工事の平均施工金額 136万8,171円



■ 耐震診断結果（昭和55年以前の建物）

	件数	割合	平均築年数
1.5以上 倒壊しない	17	0.25%	34.12年
1.0～1.5以上 一応倒壊しない	356	5.23%	35.68年
0.7～1.0以上 倒壊する可能性がある	1,369	20.09%	35.98年
0.7未満 倒壊する可能性が高い	5,071	74.43%	37.98年
合計	6,813		37.44年

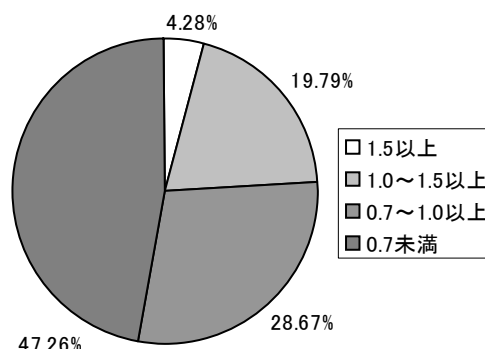
耐震補強工事の平均施工金額 151万1,311円



■ 耐震診断結果（昭和56年以降の建物）

	件数	割合	平均築年数
1.5以上 倒壊しない	314	4.28%	14.13年
1.0～1.5以上 一応倒壊しない	1,451	19.79%	16.49年
0.7～1.0以上 倒壊する可能性がある	2,102	28.67%	18.85年
0.7未満 倒壊する可能性が高い	3,465	47.26%	20.78年
合計	7,332		19.09年

耐震補強工事の平均施工金額 122万6,640円



■ 約85%が現在の耐震基準に適合せず

上記結果のとおり、耐震診断を受診された建物のうち84.89%の戸建住宅が耐震基準を満たしていないことがわかりました。また建築基準法が改正された後の昭和56年以降の建物についても約75%の建物は現行の耐震基準に適合していないことも明らかになりました。